

ちば里山新聞

(第 50 号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148
 ☎ 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

定款改定や役員改選など

6 月 18 日 ちば里山センター H29 通常総会

特定非営利活動法人ちば里山センターの平成 29 年度通常総会が、6 月 18 日、千葉県緑化推進活動拠点の会議室で行われ、平成 28 年度の活動報告・決算報告および平成 29 年度の事業計画・予算案、定款改定、役員改選などに関する議案が原案どおり承認可決されました。

総会は伊藤理事の司会で始まり、里山・竹の会の宮原代表を議長に選任して議事が進められました。H28 年度は、森林整備活動促進業務のほかに、「ちばの里山 LIFE 体験交流事業」を県から受託したこともあり、事業規模が大きく拡大しました。



あいさつする金親理事長



祝辞を述べる西野森林政策室長

定款改定については、NPO 法の改定により資産情報が登記事項から削除されたことにより、定款の公告に関する規定が変更されたものです。

さらに任期満了に伴う役員改選では、10 名の理事と 2 名の監事が選任されました。うち、新任役員は 4 名(理事 3、監事 1)。退任役員は 5 名(理事 4 名、監事 1 名)。なお、臨時理事会で理事長には金親博榮理事が、副理事長に鈴木恵子理事がそれぞれ再選され、また、伊藤道男理事が新たに副理事長に選任されたことが報告されました。(右表)

来賓には、千葉県森林課西野森林政策室長・澤口副主幹・岡田副主査、森林研究所福島所長、千葉県緑化推進委員会白石常務理事、千葉県森林組合南部支所木村事業課長らが出席、代表して西野政策室長が祝辞を述べました。

「里山アンケート」概要報告

総会に引き続き、西野室長・澤口副主幹から、さきごろ行われた里山活動状況アンケートの概要が報告され、里山団体の構成や活動状況について説明がありました。アンケートの結果は、今後「第 4 次里山基本計画」の策定作業に反映されることとなっており、「里山活動団体の基礎体力強化を図るとともに、地域に根差した里山活動の発展を目指す」旨の方針が紹介されました。

第 4 次里山基本計画策定の主要なスケジュールは以下の通りです。

- ◇関係団体への説明会⇒8～9 月
- ◇パブリックコメントの実施⇒10 月～11 月
- ◇計画決定、市町村・里山センターへの通知⇒12 月末

就任役員(理事・監事)		
理事長	金親博榮	再
副理事長	鈴木恵子	〃
〃	伊藤道男	〃
理事	高橋和靖	〃
〃	鈴木宗男	〃
〃	高木喜久雄	〃
〃	赤松義雄	〃
〃	小林正幸	新
〃	尾形孝和	〃
〃	佐藤孝之	〃
監事	南波悠二郎	再
〃	並木康雄	新
退任役員		
理事	梅山雄二	
	風間俊雄	
	小西博典	
	横山 武	
監事	黒沢誠悦	

熱く盛りあがった交流会

活動報告 「里山と養蜂は相性がいい」

今年度の活動報告会が総会後の 15 時から開催され、市原で里山活動



なごやかに懇親会

をしながら養蜂に取り組んでいる作田和彦さんが「里山と養蜂」と題して報告を行いました。実際に蜂の巣の入った養蜂箱が持ち込まれ、その構造や搾蜜方法などの解説のほか、蜜の試食なども行われました。「蜂の飼育はそれほど難しくはないうえ、山での養蜂は農薬の撒かれている農地や平地での養蜂と違い、安心して蜜も十分に取れる」などの説明に、多くの質問が出され参加者の関心を集めました。そのあと懇親会が行われ、乾杯後は参加者同士の熱心な情報交換が行われました。



分蜂のタイミングをとらえるのがポイントです



作田さん自作の養蜂箱

刈払い機を使いこなそう

安全衛生教育講習会の年間日程決まる

平成 29 年度の刈払い機の安全作業の講習会が、県内の4ヵ所で行われることになり日程が決まりました。

主催は、ちば里山センターを含む 3 機関。いずれで受講しても、林業・木材製造業労働災害防止協会から「安全教育修了証」が交付されます。6 月及び 7 月など一部については既に実施されていますが、年間スケジュールおよび募集要項等は以下の通りです。



◆会場・日程等

会場	実施日	問合せ先
千葉県木材市場協同組合(東金市)	8/8(火) 10/3(火) 12/5(火) 2/6(火)	林業・木材製造業労働災害防止協会 千葉県支部 ☎ 0475-53-0123 HP:http://www.rinsaibou.jp/
千葉県林業サービスセンター(富津市)	6/30(終了) 7/18(終了)	千葉県森林組合 南部支所 ☎439-37-2004
千葉県森林組合 南部支所 植畑研修センター(君津市)	10/30(月)	
ちば里山センター(袖ヶ浦市) ※会場が変更となる場合があります	7/23(受付終了) 9/3(日) 11/18(土) 3/18(日)	ちば里山センター ☎ 0438-62-8895(9:00~17:00) HP:http://www.chiba-satoyama.net/

◆募集要項

1. 参加費: 10,600 円
2. 持ち物: 刈払機及び工具(お持ちの方)、ヘルメット、ウエス、筆記用具、弁当
3. 申し込み方法: 指定の申込書に写真を貼付(30 mm×24 mm)し、上記の各会場問い合わせ先に送付。
※申込書は、各ホームページよりダウンロード可
4. 申し込み期間: 各会場、実施日の 2 週間前までに申込書を送付。

メンテ・玉切りなどの基本動作

チェーンソーの入門講座 7月1日

チェーンソー入門講座が 7 月 1 日(土)午前 10 時から、千葉県林業サービスセンター(富津市)で行われました。これは平成 29 年度ちば里山カリッジフォローアップ研修の第 1 回目として行なわれたもので、講師は千葉県森林組合南部支所事業課長、安全管理指導専門家の木村正敏氏。

受講生は県内 17 市町から 32 名が参加しました。チェーンソーに関しては初心者、



ソーチェーンを外して・・・

経験者と様々。まず、林業労働災害の死亡者数の内訳を確認。飛びぬけて多い伐採作業での災害事故は、年齢別にみると 50 代～70 代に集中し、高齢層に頼りがちな林業労働の実態が木村講師から示されました。

防護衣・保護具着用が義務化

平成 27 年の労働災害防止規程の改正により防護衣等、保護具の着用が義務付けられ、午後の実技では防護衣、保護具を着用しました。

資料として「慣れは怖い、基本を大切に」などの標語を埋めていく穴あ

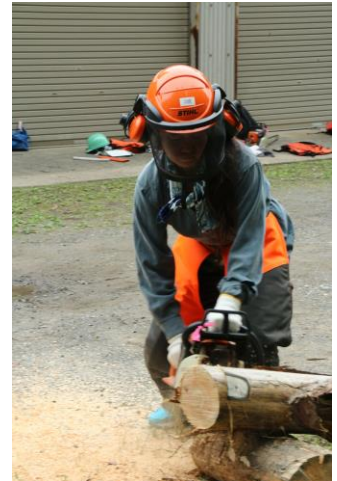
き問題が用意されました。木村講師は災害事故の実態について、チェーンソーを手に身振り手振りでの様子などを再現しながら説明。

午後はチェーンソーの分解掃除、ソーチェーンの研磨、玉切り実技へと進みました。分解掃除から刃の研磨では、所属団体のチェーンソーが持ち込まれ、「初めて掃除した」「ゴミが詰まっている」などの声が聞こえてきました。玉切りでは研磨の良し悪しで切れ味の異なることが示されました。

質問コーナーでは、ソーチェーンの研磨角度についてや立木伐採作業の研修要望など積極的で具体的なやりとりが行なわれました。チェーンソー初心者から、「受講してよかった」という感想が聞かれました。

チェーンソー講座を継続

チェーンソー講座は今後も継続されます。今回受講できなかった方は応募してみたいかでしょうか。詳しくは次ページをご覧ください。



初めて玉切りに挑戦

「目標設定と自己評価」が導入

H29 年度森林・山村多面的機能発揮対策事業

森林・山村多面的機能発揮対策交付金は、平成 29 年度から第 2 期に入りました。地域住民、森林所有者、市民団体などが活動団体をつくり、地域の森林の保安全管理に取り組む活動に国等が交付金を支援する基本的仕組みは変わりませんが、新たに「森づくりの目標設定と自己評価(モニタリング制度)」が導入され、「安全管理の徹底」も求められています。

また国は、当該事業と連携して県市町が独自の交付金を設けることを求めています。義務負担でないことから、すべての市町で制度設計が固まるにはもう少し時間が必要なようです。

29 年度から新たにエントリーした団体を含め 7 月の中下旬から順次採択決定となります。貴重な財源ですので、ルールを守り有効に利用して森づくりに生かしてもらいたと思います。(千葉県里山林保全整備推進地域協議会・伊藤事務局長 談)

エコメッセ 2017 in ちば

里山センターブースにお越しください

●日時:平成 29 年 10 月 9 日(月・祝)10:00～16:00

●会場:幕張メッセ国際会議場

●主催:エコメッセちば実行委員会

～チェーンソー講座の受講生募集～

■ 入門講座(チェーンソーの使い方編) 初心者向け

日時:8月5日(土) 受講料:2,000円

会場:千葉県林業サービスセンター(富津市)

■ 入門講座—実践編—(実践研修:立木の伐倒)

日時:9月9日(土) 受講料:3,000円

場所:木更津市笹子(アタックゴルフ木更津近く)の森林

■ チェーンソーを用いる伐木等の業務に係る特別教育

—修了証発行—

日時:9月30日(土)～10月1日(日)

会場:千葉県森林組合南部支所植畑研修センターほか

受講料:15,100円

申し込み/問い合わせ ちば里山センター ☎0438-62-8895

E-mail info@chiba-satoyama.net

ホームページ <http://www.chiba-satoyama.net/>

安全コラム

その3

“段取り八分” (だんどりはちぶん)

「段取り」は、もともとは歌舞伎の楽屋用語で「芝居の筋や構成の運び」の意味ですが、「うまく仕事が運ぶように前もって手順を決めておくこと」「手はず」を表す言葉として広く使用されるようになっていきます。

里山活動においては、その日の作業に合わせその作業に必要な資機材や作業手順・人員配置や役割などをしっかり吟味して準備しておくことが肝心です。作業の優先順位が明確になり、手順前後や手待ち時間等がなくなって、業務を効率的に進めることにつながります。

「段取り八分、作業二分」は、「仕事は段取り次第」であり「うまく段どれば作業は減らせる」を意味します。作業が“減少”すれば作業の安全性はそれだけ高まる理屈ですので、作業にかかる前の「段取り」を安全作業の基本としてもう一度見直してみてください。

里山の風にゆられて ⑥



ハンゲショウ<半夏生> ドクダミ科

華やかな春の花が終わる梅雨の時期、里山の水辺に根茎を伸ばし群生します。半夏生は、葉の下半分が白くなることに由来するという説もあり、この葉が3枚白くなると梅雨が明けるともいわれています。今年の半夏生は夏至から数えて11日目の7月2日にあたります。

(写真・文 赤松義雄 H29.6.28 袖ヶ浦市椎の森で)

里山情報バンク新着情報

【整理番号 02-16-01】佐倉市下根(京成佐倉駅～徒歩 16 分)

32,419 m² (3カ所に分かれている) 広葉樹 30%、スギ 10%、マダケ 60%、駐車場 20 台、トイレなし、水道なし

【問合先】千葉県北部林業事務所印旛支所 ☎043-484-2826

<<< 編集後記 >>>

◆①事故が起きて 119 番へ電話したが、森の住所が言えなかった。②家族へ緊急連絡をしようとしても連絡先がわからなかった。③団体の事務局に報告しようとしても休日で連絡できなかった。—そんなことってありそうですね。

◆森の住所は言えますか? 仲間の携帯電話はわかっている、その家族の連絡先の名簿は作っていますか?

◆事故は起きてはいけません。しかし、起きてしまった時の、まさに「緊急」「非常」の心構えや体制づくりをお忘れなく。

(S・O)

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎ 0438-62-8895 FAX 0438-62-8896 (平日 9:00~17:00)

E-mail info@chiba-satoyama.net HP <http://www.chiba-satoyama.net/>